

2023年4月3日  
日本銀行北九州支店

---

## 北九州・京築地区の金融経済概況

(2023年4月3日)

---

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/data/gaikyo.html>)



## 1. 総論

北九州・京築地区の経済は、緩やかに回復している。3月短観（全産業）をみると、企業の業況判断は横ばいとなった。

最終需要の動向をみると、公共投資は、下げ止まっている。輸出は、増加している。設備投資は、高めの水準にある。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、感染抑制と経済活動の両立が進むもとで、回復のペースを速めている。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

こうした中で、生産は、海外経済の回復ペースが鈍化する影響を受けつつも、供給制約の影響の緩和に支えられて、横ばい圏内の動きとなっている。雇用情勢をみると、全体として緩やかに改善している。

### 【前回との比較】

項目	前回	今回	
景気判断	緩やかに回復している。	緩やかに回復している。	
需要項目	公共投資	弱めの動きとなっている。	下げ止まっている。
	輸出	増加している。	増加している。
	設備投資	高めの水準にある。	高めの水準にある。
	個人消費	物価上昇の影響を受けつつも、感染抑制と経済活動の両立が進むもとで、回復している。	物価上昇の影響を受けつつも、感染抑制と経済活動の両立が進むもとで、回復のペースを速めている。
	住宅投資	横ばい圏内の動きとなっている。	横ばい圏内の動きとなっている。
生産	緩やかに回復している。	横ばい圏内の動きとなっている。	
雇用	全体として緩やかに改善している。	全体として緩やかに改善している。	

## 2. 需要項目別動向

公共投資は、下げ止まっている。

輸出は、増加している。管内の2月の貿易収支は、黒字であった。

設備投資は、高めの水準にある。

3月短観をみると、管内企業は高水準な企業収益を背景に、能力増強に向けた前向きな設備投資を続ける先が目立っており、積極的なスタンスにある。2022年度の投資額は、大口案件の裏要因や資本財等の供給制約による投資の翌期への繰り越しがあり、前年度を下回るものの、高めの水準を維持した。2023年度の投資計画は、こうした投資の期ずれの要因もあり、前年度を大きく上回っている。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、感染抑制と経済活動の両立が進むことで、回復のペースを速めている。

新型コロナ感染者数が減少し、マスク着用ルールが緩和されたこともあって、幅広い小売・サービス関連施設の入店客数が回復している。こうしたもとで、食料・日用品の販売は、物価上昇を受けて一部の消費者に節約志向がみられるものの、緩やかに増加している。高額品や衣料品の販売は、堅調に推移している。飲食や旅行・観光関連のサービス消費は、全国旅行支援等の政策効果もあって、増加している。乗用車販売は、供給制約の影響が和らぎ、緩やかに回復している。

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

### 3. 生産

生産は、海外経済の回復ペースが鈍化する影響を受けつつも、供給制約の影響の緩和に支えられて、横ばい圏内の動きとなっている。

#### ▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	弱含んでいる。
	電炉	高水準で推移している。
化学	国内・海外の需要低迷を受け、減少している。	
セメント	横ばい圏内で推移している。	
住設機器	高水準で推移している。	
電気機械	基調としては緩やかに増加しているが、一部で生産調整を実施している。	
電子部品	一部に弱めの動きがみられるものの、総じて高めの水準にある。	
自動車	緩やかに増加している。	

### 4. 雇用

雇用情勢をみると、全体として緩やかに改善している。

### 5. 物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）の前年比は、3%程度となっている。

### 6. 企業倒産

企業倒産をみると、落ち着いた動きとなっている。

### 7. 金融情勢

実質預金残高、貸出金残高は、前年を上回って推移している。

以 上